

世界的な教育・研究ネットワークを活用した 研究・教育・国際・産学連携の協働による 国際・学際共同研究の創出支援

筑波大学 研究戦略イニシアティブ推進機構
研究マネジメント室

陳 晨（チェン チェン）
主任研究員・リサーチコーディネーター



学内における国際・学際共同研究の課題

1 縦割り構造による連携不足

研究・教育・国際・産学連携部門の連携不足が、国際共同研究の推進を困難にしている

2 国際・学際ネットワーク構築の場と共同研究資金の不足

3 研究者間のマッチング支援の不足

研究者マッチングの仕組みが不十分
長期的な国際共同研究チームの形成が困難

4 国際・学際共同研究を円滑に進めるためのスキルの不足

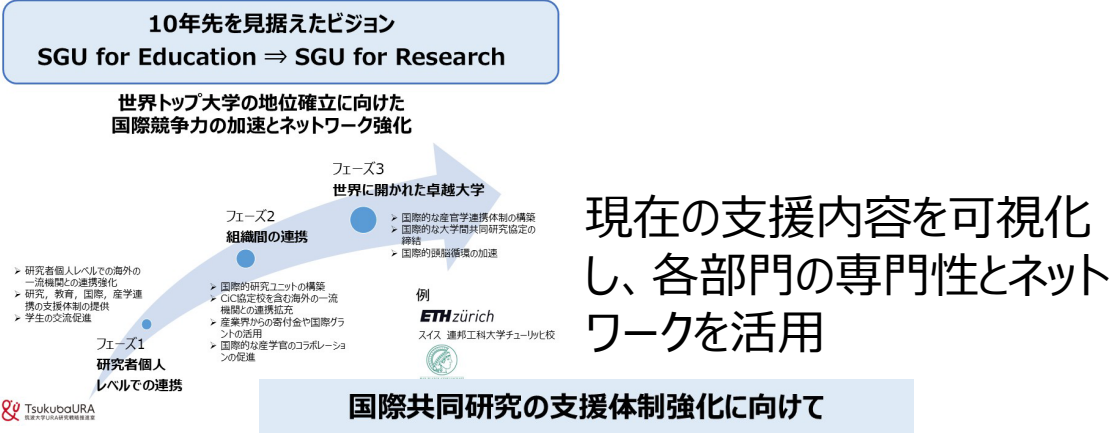
コミュニケーション能力、マネジメントスキル、リーダーシップの習得・実践の機会が不足している

取組1: 研究・教育・国際・産学連携等の多部門連携による国際・学際共同研究支援体制の強化

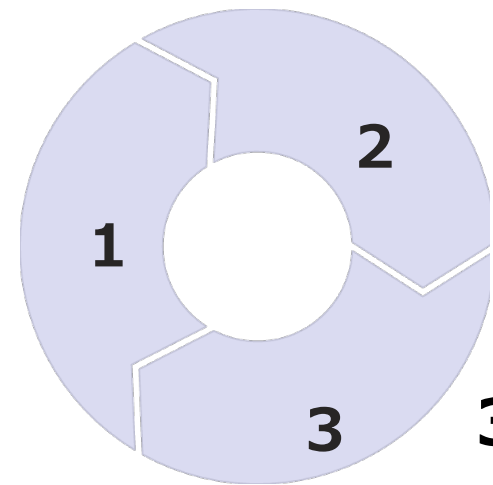
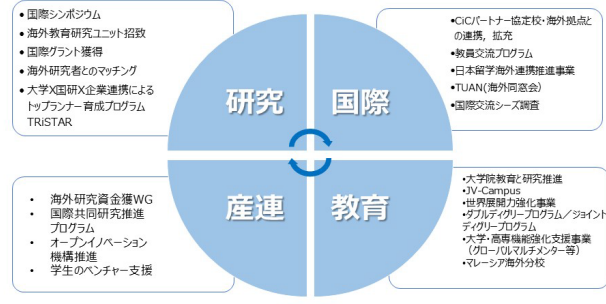
- 大学の縦割り体制による部門間の連携不足で国際、学際共同研究プロジェクトの創出に支障が出ている。
- 奨励研究調査：米国の代表的な研究機関の調査によると、国際・学際共同研究を成功させるには、研究、教育、国際、産学連携を多角的に支援する専門組織の存在と、シードファンドの適切な設計が重要である。

1. 研究・教育・国際・産学連携部門を横断する柔軟な体制の構築

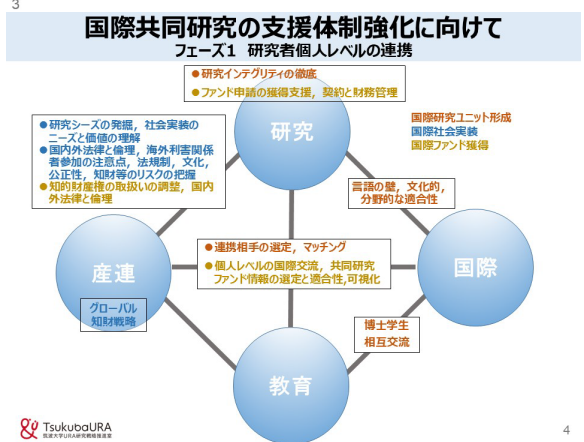
共通の長期目標の設定



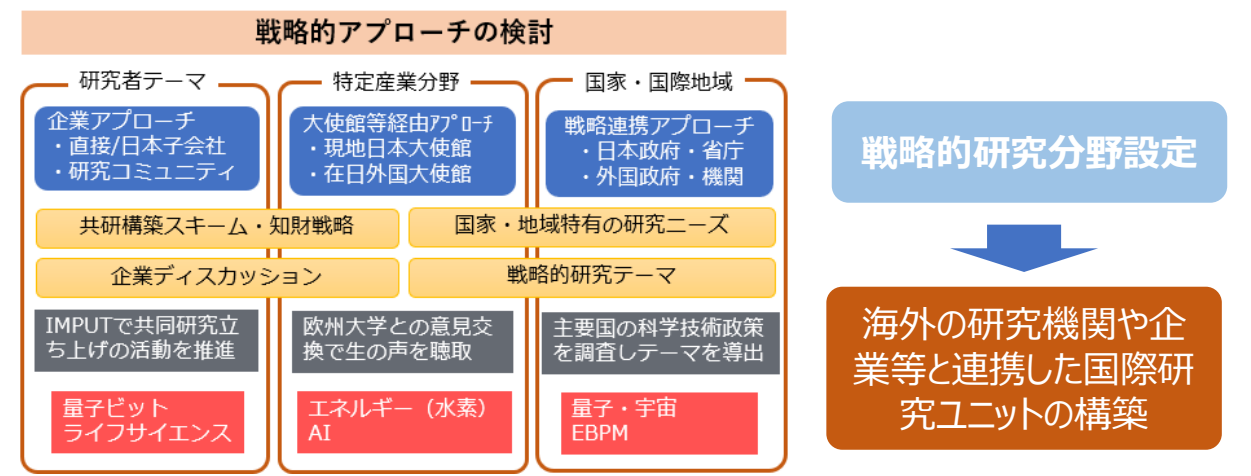
- ・組織の連携体制を強化する
- ・各組織が培った専門性やネットワークを活用する



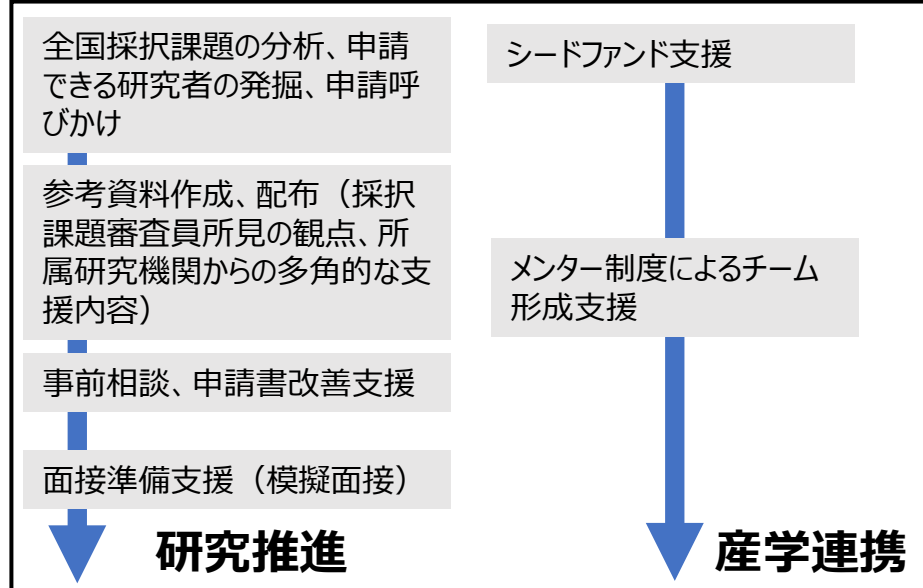
短期目標に分解することで、課題ごとに各部門が横断的に協力し合える体制と役割分担を再構築し、柔軟かつ迅速に対応できる仕組みを整備



2. 海外政府・研究機関・企業と連携してシードファンドを設計・運用し、国際研究ユニットの基盤を構築



3. 国際共同研究ファンドへの申請支援強化



2022年度に科研費国際先導研究1件（6億8250万円）、
2023年度にASPIREプログラム2件（計1億7940万円）が採択



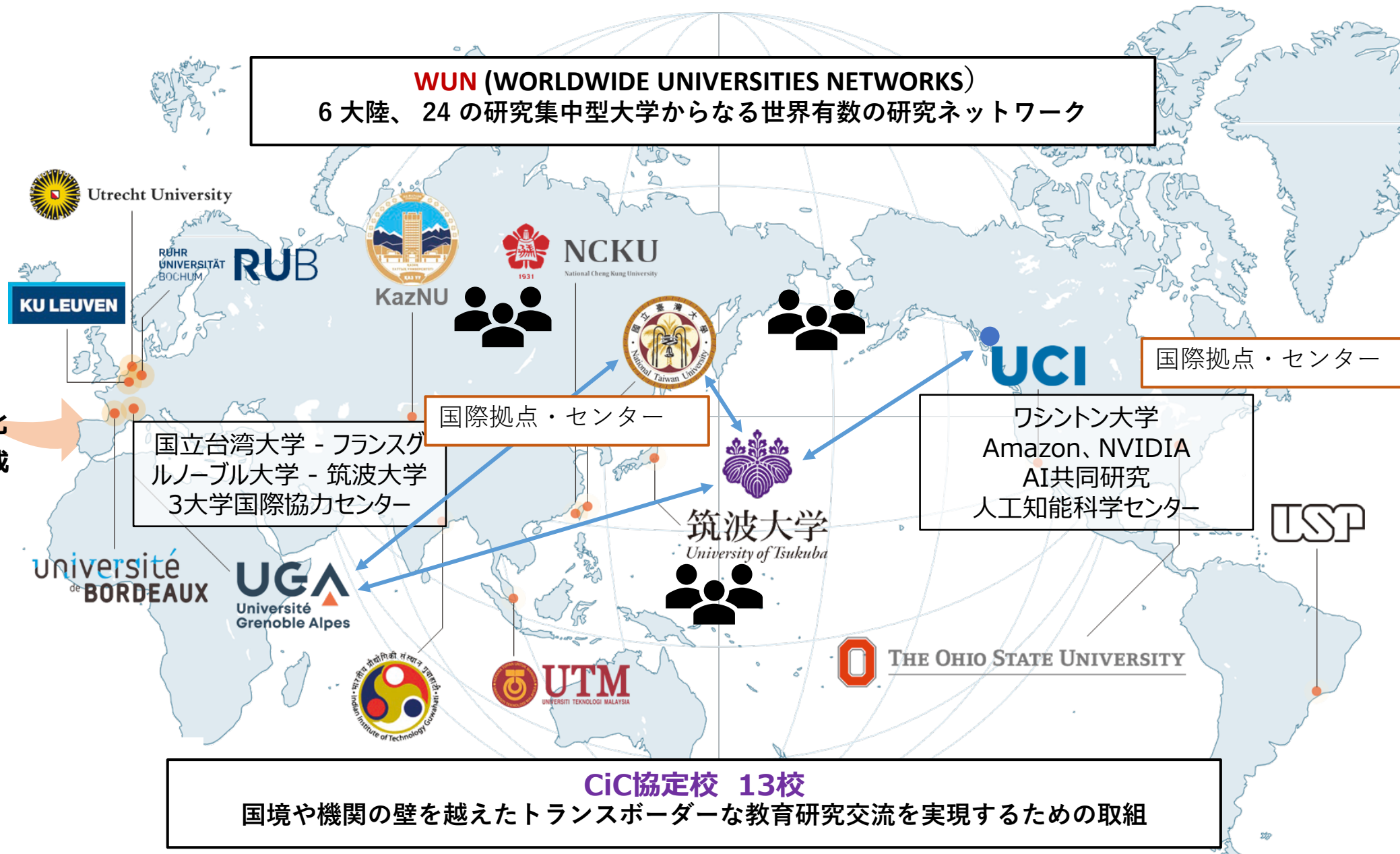
取組2：世界的な教育・研究ネットワーク「Campus-in-Campus (CiC)」と「Worldwide Universities Network (WUN)」を活用した国際・学際交流や国際共同研究ファンド獲得の基盤整備

様々な国際ネットワークを活かし、世界に開かれた卓越大学へ

WUN (WORLDWIDE UNIVERSITIES NETWORKS)
6大陸、24の研究集中型大学からなる世界有数の研究ネットワーク

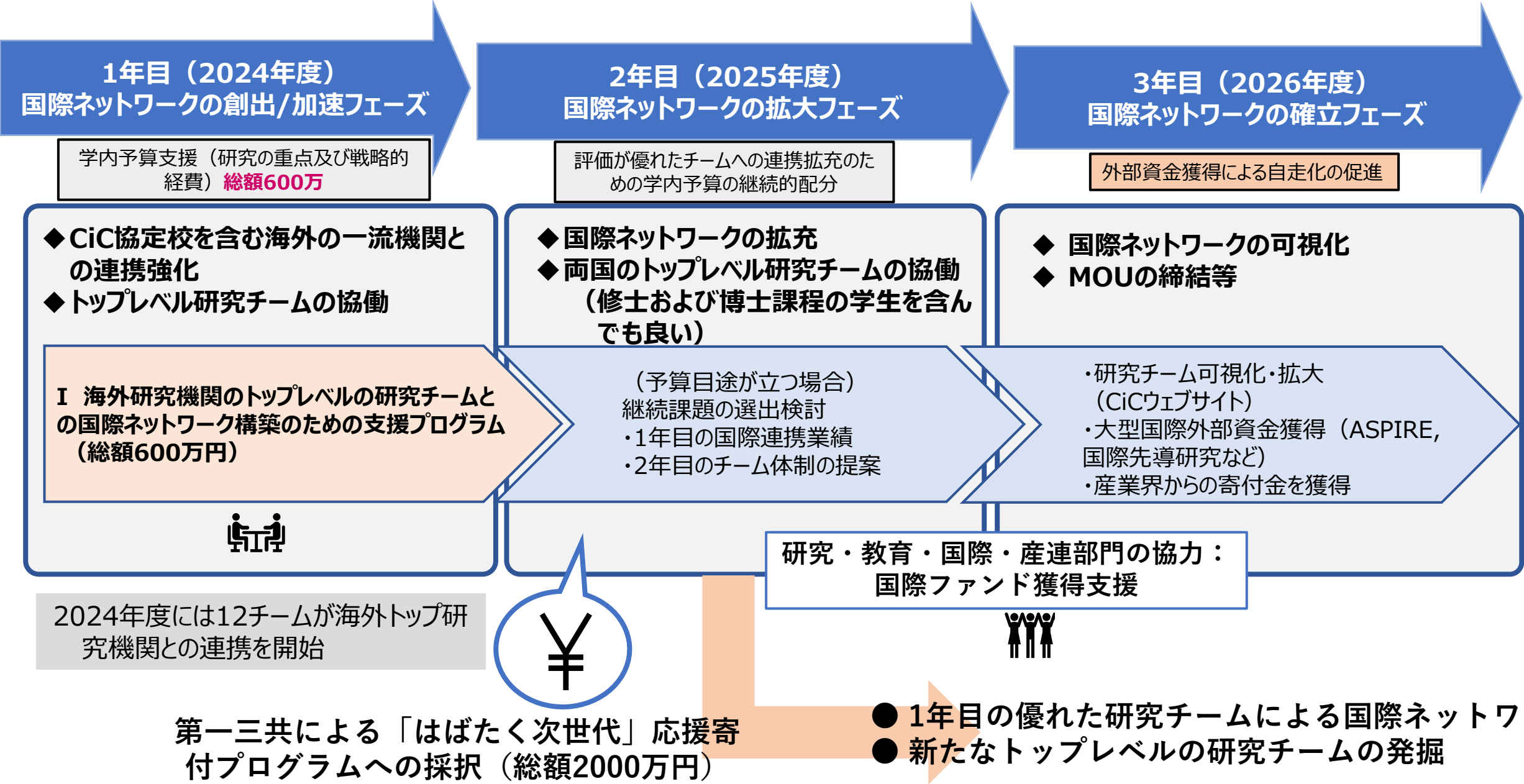
国際ネットワークの活性化
優秀な若手研究者の育成

国際グラントや産業界からの
共同研究・寄付金の獲得



取組2：世界的な教育・研究ネットワーク「Campus-in-Campus（CiC）」と「Worldwide Universities Network（WUN）」を活用した国際・学際交流や国際共同研究ファンド獲得の基盤整備

学内予算の戦略的活用による国際・学際共同研究の促進
国際共同研究マッチング・シードファンド トップレベル国際ネットワーク構築支援



取組2：世界的な教育・研究ネットワーク「Campus-in-Campus (CiC)」と「Worldwide Universities Network (WUN)」を活用した国際・学際交流や国際共同研究ファンド獲得の基盤整備

CiC協定校 13校

欧米及びアジアの13の研究型大学と連携し、国境や機関の壁を越えたトランスボーダーな教育・研究交流・産学連携を実現するための取組

Summary of proposals in Education

IMAGINE THE FUTURE.

Online education platform

KazNU, UBx, UT(CJ, JV-Campus)

Virtual Student Exchange

UGA, UBx(Visiting Professor),
OSU(Student), USP

Physical Student Exchange

UCI(physical exchange is now open)

Multilateral student exchange

USP

Staff exchange

RUB

Research based education/
Student matching institutions/
PhD student-oriented workshops

UBx, RUB(research institution),
USP(Global Research academy)

Contents for online education

KazNU(Mooc), OSU(COIL), RUB(Shakespeare),
UBx, UCI, UGA, UT(CJ contents)

Topic based education

UBx(Water, neuronal melody),
UT(Design/Architecture)
USP(entrepreneurship, SDGs),
UCI(Cancer, Imaging, etc.),

Interdisciplinary education

UGA, UBx(Design lab), USP

Joint degree/Double degree

RUB(AI, Comparative culture in future)

Short programs

UCI, UBx, USP, UT

Education fund

OSU(connecting ACE), USP

Summary of proposals in Research

IMAGINE THE FUTURE.

International collaboration seed funding

NTU, UBx, UCI, UGA, USP,UT

Researchers matching

AL-FARABI KAZAKH, NTU,RUB,UBX, USP, UCI, UGA,UT

Virtual exchange/collaborative online international learning lab

OSU

Interdisciplinary Research Promotion

UBX, OSU(Student), USP, UCI, UGA, UT

Early career research network
(Including doctoral students)

UBX, USP, UT

Workshop trainings for funding

NTU, RUB, OSU

EU research grants:
Horizon Europe RISE

UBX

Summary of proposals in Univ.-Industry collaboration

IMAGINE THE FUTURE.

UT

Enable students and faculty members to engage in education and research and take the advantage of all available global resources of partner universities; Connecting industries and city governments through CiC Partners

UGA – GIANT Innovation Campus

Top research and innovation activities structured along the fundamental research, energy, health, information technologies and innovation management, and backed by local and regional government agencies
Through High Level Forum bringing together award-winning and international start-ups selected on various criteria related to their relationship with their ecosystem and the HLF yearly topics.

RUB Project and WorldFactory International

To internationalize start-ups and give them the knowledge, guidance, and support in translating research ideas into business models.



CAMPUS-IN-CAMPUS
BOARD MEETING
30-31 October, 2024, Almaty



2024/10/9
Ruhr University Bochum
New mechanism to kill cancer cells



2023/9/1
Ruhr University Bochum
The German "Excellence Strategy" Competition



2023/5/1
Al-Farabi Kazakh National University
KazNU Master's Students Launched Dietary Bakery

教育・研究・産学連携のリソースを共有できるウェブサイト
<https://www.cic.sec.tsukuba.ac.jp/>

申請チームは、学内の国際局や海外のCiC協定校と連携し、2022年にCiC協定校と教育・研究・産学連携のリソースを共有できるウェブサイトを立ち上げた。

国際・学際交流活動を可視化し、さらなる国際・学際連携の促進を目指す。

CiC協定校における教育・研究・産学連携に関する共通の取り組み

取組2：世界的な教育・研究ネットワーク「Campus-in-Campus（CiC）」と「Worldwide Universities Network（WUN）」を活用した国際・学際交流や国際共同研究ファンド獲得の基盤整備



WUN (WORLDWIDE UNIVERSITIES NETWORKS)
6 大陸、24 の研究集中型大学からなる世界有数の研究ネットワーク
地球規模の主要な課題を解決するための研究と教育を推進

WUN Member Universities
as of 2024

【 North America 】

The University of Alberta (Canada)
University of Rochester (USA)

【 Latin America 】

Universidade Federal de Minas Gerais (Brazil)
Tecnológico de Monterrey (Mexico)

【 Europe 】

Ruhr University Bochum (Germany)
University of Lausanne (Switzerland)
Maastricht University (Netherlands)
University of Bristol (UK)

University of Exeter (UK)
University of Leeds (UK)
The University of Sheffield (UK)
University of Southampton (UK)
University of York (UK)

【 Asia 】

University of Tsukuba (Japan)
The Chinese University of Hong Kong (China)
Renmin University of China (China)
Mahidol University (Thailand)
National Cheng Kung University (Taiwan)

【 Africa 】

Makerere University (Uganda)
University of Ghana (Ghana)
University of Cape Town (South Africa)
University of Pretoria (South Africa)

【 Oceania 】

University of Technology Sydney (Australia)
The University of Auckland (New Zealand)

国際・学際共同ファンド
WUN Research Development Fund
2024支援



WUN加盟初年度にもかかわらず、6つの多様性豊かな国際研究チームが結成され、多数のファンド応募が実現

PIプロジェクト：2件応募（採択）
Co-Iプロジェクト：4件応募（うち3件採択）

- 既存国際ネットワークの活用
- 新規国際連携の拡大



国際・学際連携を深化し、研究成果創出と研究者育成を推進

取組3：独自の支援体制による国際・学際共同研究者の効率的マッチングとチーム構築

国際・学際共同研究ができる研究者をマッチングする支援体制が十分に整備されておらず、たとえ共同研究者を見つけたとしても、信頼関係の構築が不十分な場合には、連絡が途絶え、共同研究の継続が困難になることが多かった。

1

SciValとAIの活用

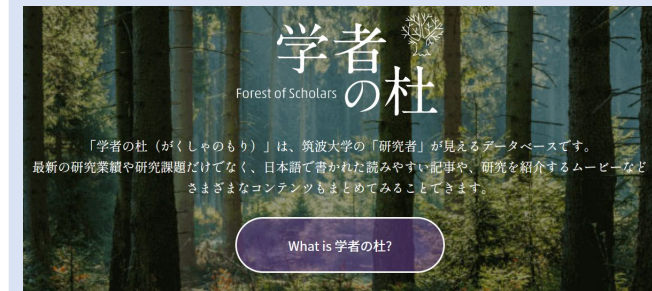
研究業績分析ツールSciValとAIを活用した効率的な研究者マッチング

- SciValを活用した分析と研究者抽出：異分野融合度の分析、研究テーマの動向分析、融合度の高い分野、勢いのある研究テーマ、将来的に発展が見込まれる研究テーマの研究者を選定
- 生成AIを活用し、研究者の論文、プロジェクト経験、スキル、興味分野の相乗効果を最大化できる研究者のマッチングを実現

2

研究者が見えるデータベース 「学者の杜」の活用

筑波大学独自のデータベースを活用した研究者分析とマッチング
多言語対応



- インタビュー記事、動画、学外メディアの研究コンテンツなどを収集
- 生成AIを活用し研究者の人柄や性格を把握
- 相性の良い共同研究相手を特定

3

海外オフィス・連携校のコーディネーターと 協働した国際・学際共同研究の創出と 長期的なチーム形成支援

例：本学とフランス・グルノーブル大学による
国際共同研究チームの創出



取組4 研究者が国際・学際共同研究を円滑に推進するためのスキル向上支援

- 国際・学際共同研究に必要なコミュニケーション能力、マネジメントスキル、リーダーシップの不足という課題に対応
- 申請チームが海外の国際コーディネーターと連携し、専門的なスキル育成の場を企画・運営
- イベント終了後も継続的な支援を実施



ドイツ・ハンブルク大学との国際フォーラム開催：コミュニケーションスキル習得、マネジメントスキル向上、リーダーシップ実践

国立台湾大学と共催で国際シンポジウムを開催し、異分野の議論を促進

WUN事務局長招へいによる国際共同研究講演&ワークショップ開催

TRiSTAR-HAMBURG FORUM for Young Researchers International and Interdisciplinary Networking

国境と分野を越える コミュニカを磨く

November 27-28, 2023

登録締切 2023.11.24

Day 1 Nov. 27 (Mon.) JST 12:00-19:45

- ① 世界で活躍している多分野連携研究者の体験談
- ② 研究コミュニケーションの専門家による講義と実践ワーク
- ③ 共通のトピックに関心を持つ仲間との出会いを提供
- ④ 研究者がWGのリーダーとして活動

International Symposium
Social Impacts and Responses in the COVID-19 Crisis

両大学のオンラインから120名が参加

国際会議での招待講演につながり、日本学術振興会の二国間交流事業の獲得にも結びついた。

LET'S COLLABORATE! 国際共同研究のスキルを磨こう!

筑波大学は今年、6大陸から成る24の研究大学で構成されるWorldwide Universities Network (WUN) に加盟しました! 今後、筑波大学はWUN等のネットワークを活用し、グローバル課題に取り組む国際共同研究の推進、学生や研究者の交流促進を加速します!

講演者 Peter Lennie
Executive Director
Worldwide Universities Network

プログラム

- ① WUN事務局長およびWUNシードファンドに採択された研究者による講演を通じ、国際・学際共同研究のチーム形成と研究遂行について学ぶ
- ② 共同研究の課題と解決策を共有し、具体的なアクションにつなげる

参加した研究者たちの声⇒これらの取組が実際のスキル向上に貢献している

- ・ 異なる分野や国の研究者と交流することで、自身のコミュニケーションスキルを磨く良い機会となった
- ・ 共同研究の事例が非常に興味深く、参考になった

今後の展開

・国際・学際共同研究支援体制の強化

- ・ 研究者シーズの発掘
- ・ グローバル企業との連携を通じた研究成果の社会実装加速

・世界的な研究ネットワークの構築

- ・ CiC協定校やWUN加盟校との連携強化
- ・ 独自のマッチングアプローチを活用し、インド・アフリカなど新興国の大学と協働
- ・ 地球規模の課題解決を目指す新たな共同研究の推進

・新たな国際・学際共同研究寄付プログラムの立ち上げ（2025～2026年度）

- ・ 「はばたけ世界へ！国際ネットワーク応援プログラム」（2024年度採択）の実施
- ・ 国際ダブルメンター制度を導入し、国際・学際のネットワークの継続性・プロジェクト拡大を支援
- ・ 最大2年間の活動期間設定による柔軟な予算運用と海外会計年度への適応性向上

皆様のご協力に深く感謝申し上げます

- ① 梅村 雅之 筑波大学 研究マネジメント室 室長、特命教授
- ② 太田 一陽 筑波大学 研究マネジメント室 副室長、准教授
- ③ 山盛 徹 筑波大学 研究マネジメント室 主任研究員、リサーチコーディネーター
- ④ 萩原 友希江 筑波大学 研究マネジメント室 チーフURA
- ⑤ 栗原 翔吾 筑波大学 研究マネジメント室 チーフURA
- ⑥ 竹下 暢昭 筑波大学 研究マネジメント室 主任研究員、リサーチコーディネーター
- ⑦ 櫻井 岳暁 筑波大学 国際室 室長、教授
- ⑧ 清水 義寛 筑波大学 オープンイノベーション国際戦略機構室 クリエイティブマネージャー
- ⑨ 加藤 英之 東京科学大学 リサーチディベロップメント機構 リサーチ・アドミニストレーター 主任URA

連絡先

筑波大学 研究戦略イニシアティブ推進機構

研究マネジメント室 国際連携チーム

global_ra@un.tsukuba.ac.jp